

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

公表：平成 30 年 3 月 22 日

事業所名

緑キッズ東松山

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		放課後等デイサービスの利用者様との空間を別にしてあります	
	②	職員の配置数は適切である	○			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	バリアフリーではないため、段差にクッション等でカバーをしています	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○		清掃は消毒等、毎日行っています	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している		○	支援方法が的確であるか、時間等も含め改善しながら話し合いをしています	今後も共通意識を持ち、利用者様との関わりを深めていくことを大切にしていきます
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			開所したばかりなので、これからはこのようなアンケートをし続けていきたいと思っています
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページで公開している		○		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	⑨	職員の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修には積極的に参加したいと思っています
適切な支援の提	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			今後、作成予定です
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		今度使用していきたいと思っています
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			子供の特性などを把握しながら一人ひとり向上出来る支援計画をこれからも作成出来るように、日々子供に寄り添い支援していきたいと思っています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			今後していきたいと思っています
⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫している	○		同じ場所に毎日行かないようにパソコン等で調べています		

供	⑩	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			今後、一人ひとりに合わせて支援計画を考えていく予定です	
	⑪	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日おこなわれる支援の内容や役割分担について確認している	○			現在その体制を作ろうとしている、これに近いことはしています	
	⑫	支援開始後には職員間で必ず打合せをし、その日おこなわれた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			日々、職員間で話し合うことを大切にしています	
	⑬	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	⑭	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				
関係機関や保護者との連携	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	⑯	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	⑰	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—				
	⑱	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—				
	⑲	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		3～6ヶ月に一度は先生、相談員などと会議を行い各々の発言を聞く機会を設けています		
	⑳	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		3～6ヶ月に一度は先生、相談員などと会議を行い各々の発言を聞く機会を設けています		
	㉑	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				研修にも積極的に参加しています
	㉒	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○				積極的にそのような場を取り入れていきたいです
	㉓	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○				今後参加させて頂きたいと思います
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎回、送迎時にお子様の様子を伝えている。		
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○				

保護者への説明等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	③④	定期的に、保護者からの子育て悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会の開催は今後の目標としています
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎日おたよりを発行しています	内容の充実に努力します
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後出来るようにしていきます
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練などもう少し回数を増やしたいです
④③		事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		契約の時などには必ず、その後変更があった場合には個別支援計画書などに記入しています	
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		指示書はないが、保護者様から伝えて頂いたことを心がけて対応しています	
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
④⑥		虐待を防止するため、職員の研究機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束は原則しないように子供の特性を把握して理解をし声かけ等も工夫していきたいと思えます	